

4 研修修了者からのメッセージ

高昭牧場〔取材記事〕

今回は、軽種馬育成調教センターで運営管理している日高育成総合施設軽種馬育成調教場（以下 BTC 調教場）を利用している高昭牧場に勤務している BTC 育成調教技術者養成研修を修了した 4 名を紹介します。高昭牧場は、北海道浦河町野深に位置し、2006 年優駿牝馬（オークス）・秋華賞を優勝したカワカミプリンセス号が育成期を過ごした牧場で、最近ではピースピースという珍しい名前の競走馬を輩出したことでも知られています。この牧場に勤めている職員は皆さん年齢が大変若く、雰囲気も和気あいあいとして和やかムードです。

一ノ瀬 祐太さん（第 24 期生）

現在入社 4 年目の一ノ瀬さんは、1 つの厩舎で厩舎長という役職に就いています。その厩舎には 12 頭の競走馬がおり、その馬達の日々の管理から、騎乗馬を各従業員に割り当てる仕事もしているそうです。もちろん、ご自身も騎乗して馬の調教を行っていますが、人の馬割りを決めるのはそう簡単ではないとのこと。馬の世界に対する魅力についてうかがったところ、もちろん危険を伴う仕事ではありますが、競馬を見るファンとしての関わりだけではなく、調教や世話をしていた馬が勝利した時の喜びは一段と大きく、とてもやりがいがある仕事であると思いますとのことでした。

この仕事に就くきっかけは小学校の頃にやった競馬ゲームで、それから馬に興味を持つようになったそうです。これまで働いていて嬉しかったことは、自身が調教で騎乗していたメイショウジェイが新馬戦を勝ったことで、逆に辛いことは？という質問には、日々馬に乗っていても上手く行かなかった時は辛いとおっしゃっていました。

将来の抱負を聞いたところ、今はとにかくこの牧場で自分の技術を磨いていきたいという強い気持ちを聞かせていただきました。

山下 達也さん（第 24 期生）

山下さんも高昭牧場に入社して 4 年目に入りました。次々と新人が入ってくるので、騎乗しながら同時に新人に教えたりと大忙しの様子です。山下さんがこの業界に入るきっかけは中学校の時にやった競馬のゲームだったそうです。同期修了生の一ノ瀬さんと理由が同じで、「この世代で馬の世界に入ろうとした人は、ほとんどこのゲームの影響なんじゃないかな？」と苦笑い。

馬の世界の魅力については、数ある仕事のうち、生き物を扱うのは他の仕事には無い楽しさがあるのではないのでしょうか？ということでした。

この仕事をしていて、毎日調教で騎乗していた馬が、段々と力を付け成長しているのを感じるとすごく嬉しくなるとのこと。その反面、無事に競走馬としてデビューさせてあげられないとやはり悲しいとおっしゃっていました。これからはそんな馬が少しでも減るように、どんな馬でも無事にレースに送り出して行けるようにしたいと抱負を語っていただきました。

石田 祥幸さん（第 26 期生）

入社 2 年目の石田さん、つい 2 ヶ月前に先輩になったばかり。日々の調教にも精をだしている

ようです。馬の世界に入ったきっかけは、小学校の頃に両親に連れて行ってもらった東京競馬場でみたダービーだったそうです。その時に優勝したスペシャルウィーク号の走りに感動を覚え、馬に乗ってみたい！と思ったのが始まりとのこと。

この仕事を始めてからまだ2年目なので、出来ないことや失敗が多いですが、1年目にカワカミプリンセスが休養のために厩舎に入厩したとき、最初は手も触れさせてもらえなかったのが、徐々に手伝いをさせてもらえるようになった時はすごく嬉しかったそうです。石田さんは、騎乗中に不注意で、自分自身が怪我をしてしまい、それで仕事を休まなくてはいけない状況になってしまったことが最も悔しかったと言っていました。馬の世界の魅力をお聞きしたところ、馬が好きでないと厳しい世界かもしれませんが、馬が好きならばその分が自分に返ってくるものも多い仕事だと思いますとのことでした。

抱負を聞いたところ、まだまだ自分は未熟なので、少しずつでも技術の向上をめざして早く一人前のホースマンになりたいと希望を話してくれました。

阿蘇 亮介さん（第27期生）

入社して、ホースマン1年生の阿蘇さんはBTCの先輩3名にも優しく見守られ、のびのびと仕事ができているようです。競馬の中継を見て馬の魅力に取り憑かれ、馬の世界に飛び込んだ一人で、毎日馬に乗る事だけで楽しいそうです。働き始めたばかりで失敗ばかりなので、少しでもミスが減らしていくのが当面の課題だとのこと。馬の世界に対しての魅力をうかがったところ、朝早くからの仕事で、毎日大変ではありますが、頑張った分だけ自分に喜びが返ってきます。とてもやりがいがありますと希望に満ちた返事が戻ってきました。

もう少ししたら、自分で調教していた馬がレースで良く走ってくれたり、喜びを感じることも増えて来ることでしょう。

今回お話を聞かせていただいた4名は、技術者としての向上心がとても高いと感じました。若い従業員が多く活気のある牧場なので、この若い力でもっとたくさんの強い競走馬を輩出してくれることを期待したいと思います。健康に気を付けて頑張ってください！



高昭牧場で活躍している BTC 研修修了者
(左から石田・一ノ瀬・山下および阿蘇の各皆さん)



BTC 調教場の屋内直線馬場にて騎乗調教中の皆さん
(2 番手が石田さん・左端が一ノ瀬さん)



西舎共同育成公社に構える高昭牧場の厩舎の外観